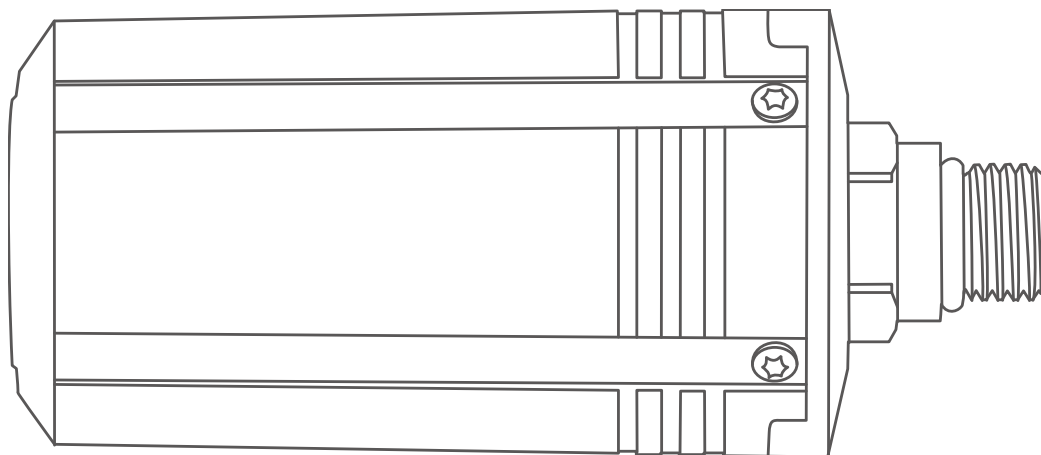




DESCENT T2

操作マニュアル

目次

はじめに	1	する	15
トランシーバーの取り付けとセットアップ	1	商標について	16
トランシーバーの取り付け位置	1		
レギュレーターにトランシーバーを取り付ける	3		
トランシーバーを延長高圧ホースに取り付ける	4		
ダイビング	6		
ダイビングに関する警告	6		
ダイビングに関する注意	6		
トランシーバーを低電力モードから起動する	6		
Descent ダイブコンピューターとトランシーバー をペアリングする	7		
ダイブネットワーク&エアーインテグレーション 設定	7		
トランシーバー設定	7		
ダイビング中に表示するトランシーバーを選 択する	8		
ガス消費量の計測基準を選択する	8		
ダイビング中にトランシーバーデータページを 確認する	8		
ダイバー間メッセージを送信する	9		
ダイビング中に救援を要請する	9		
Descent ダイブコンピューターでトランシーバー のソフトウェアを更新する	9		
Garmin Dive アプリとトランシーバーをペアリン グする	10		
デバイス情報	11		
Descent T2 Transceiver(トランシーバー)の電池 を交換する	11		
お取り扱い上の注意事項	11		
トランシーバーのクリーニング方法	11		
交換用パーツ	12		
仕様	12		
トラブルシューティング	13		
デバイスに関するその他の情報	13		
ダイビング製品と機能の互換性	13		
ダイビング用語	13		
トランシーバーのアラート	14		
トランシーバー接続アラートを有効にする	14		
水中でトランシーバーと Descent ダイブコン ピューターの接続が途切れる	15		
送信出力設定を変更する	15		
トランシーバーのバッテリー消耗が早い	15		
ダイビング中トランシーバーからノイズが発生			

はじめに

警告

本製品を安全にご使用いただくために、同梱の「安全および製品に関する警告と注意事項」に記載される内容を必ずお読みください。

トランシーバーの取り付けとセットアップ

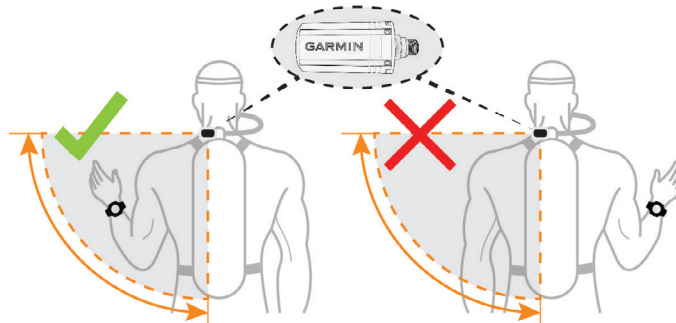
注意

最適な設定で最大限の性能を発揮するためには、事前にダイビングショップなどでトランシーバーの取り付けとセットアップを完了することをおすすめします。ダイビングに使用する前に、水面上と水面下の両方でトランシーバーが正しく取り付けられているか十分にテストしてください。

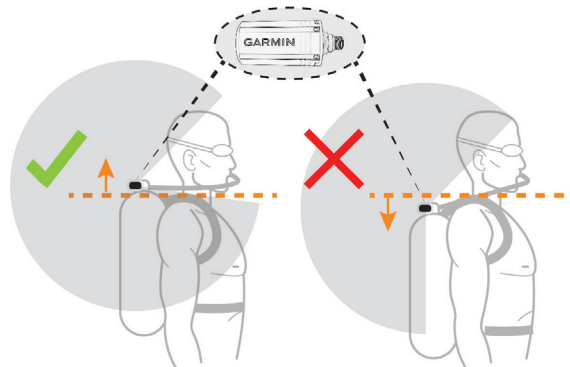
トランシーバーの取り付け位置

トランシーバーは、対応するダイブコンピューターとワイヤレスで通信します。水上では ANT テクノロジーを使用します。水中では SubWave ソナーネットワークを使用します。特に水中では、身体やドライスーツ、ダイビング器材などが通信の妨げになることがあります。最適な受信のため、使用しているすべてのトランシーバーとダイブコンピューターの間に障害物がないようにしてください。身体や器材で通信を妨げないために、次のことをご確認ください。

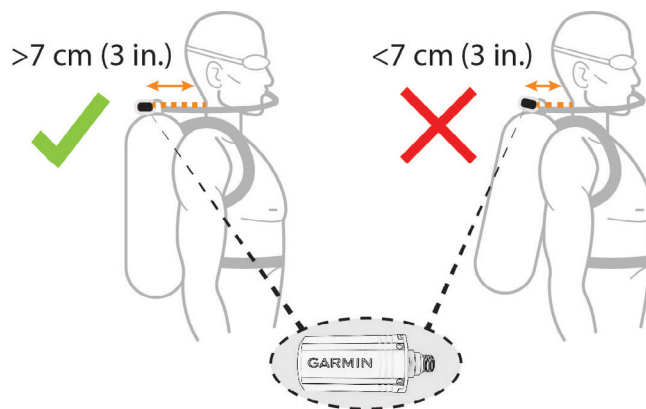
- トランシーバーは、ダイブコンピューターを装着した手首と同じ側に取り付けてください。例えば、ダイブコンピューターを左手首に装着した場合は、トランシーバーをレギュレーターの左側に取り付ける必要があります。



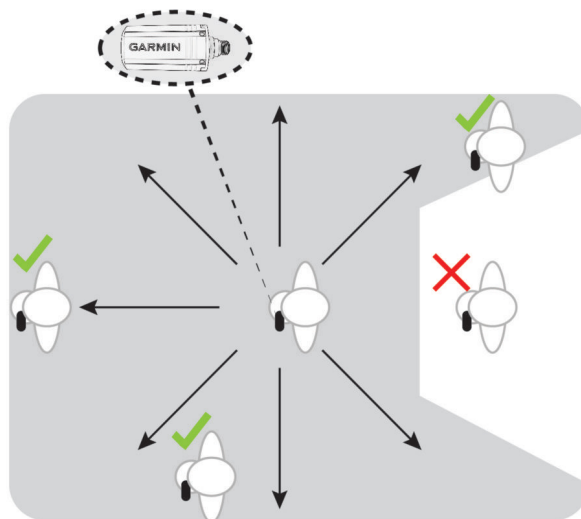
- 最適な受信のために、背中の高い位置にタンクを装着する必要があります。これにより、トランシーバーは肩越しに良好な通信状態を保つことができます。



- トランシーバーは、身体から 7cm 以上離して取り付けてください。



- もしタンクを下向きに装着し、レギュレーター的位置も下になる場合は、高圧ホースを使用してトランシーバーの位置を移動し、肩越しに通信できる状態にしてください。
- トランシーバーから信号を受信できない場合、受信できるまで腕を動かしてみてください。
- 別のダイバーからの信号が受信できない場合、受信できる位置に身体を移動したり、姿勢を変えてみてください。トランシーバーと、他のダイバーの間にユーザー自身の身体があると、通信の妨げとなるおそれがあります。



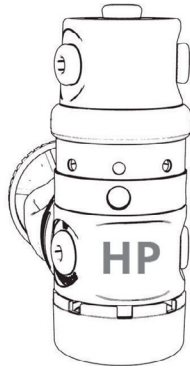
レギュレーターにトランシーバーを取り付ける

⚠警告

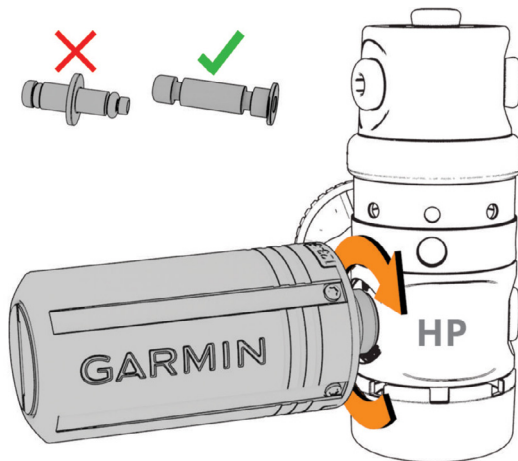
レギュレーターにトランシーバーを取り付けて使用する場合は、必ず流量調節器も取り付けてください。トランシーバーを延長高圧ホースに取り付ける際には、必ず付属の Air Spool(エアスプール)を使用してください。(4 ページ トランシーバーを延長高圧ホースに取り付ける) 流量調節器またはエアスプールのどちらか一方でも取り付けずにトランシーバーを使用すると、死亡または重傷を負うおそれがあります。

レギュレーターにトランシーバーを取り付ける前に、トランシーバーの取り付け位置をお読みにになり、ダイブコンピューターと良好な通信状態になる位置を選定してください。

- 1 レギュレーターが減圧してタンクから取り外してあることを確認します。



- 2 高圧ポートからポートプラグを外します。
- 3 流量調節器がトランシーバーに取り付けられていることを確認し、トランシーバーを高圧ポートに差し込んで、回してしっかりと締めます。
- 4 5/8 インチ(16mm)のスパナを使用して、トランスミッターを締め付けて固定します。
ヒント：流量調節器は、あらかじめトランシーバーに装着された状態で出荷されています。



⚠警告

トランシーバーが、ホースや他の器材と物理的に干渉しないことを確認してください。

注意

トランシーバーの破損や機能障害を防ぐため、過剰に締め付けないでください。タンクの移動、運搬、位置の調節をしたりするときに、レギュレーターやトランシーバーを掴まないでください。

トランシーバーを延長高圧ホースに取り付ける

警告

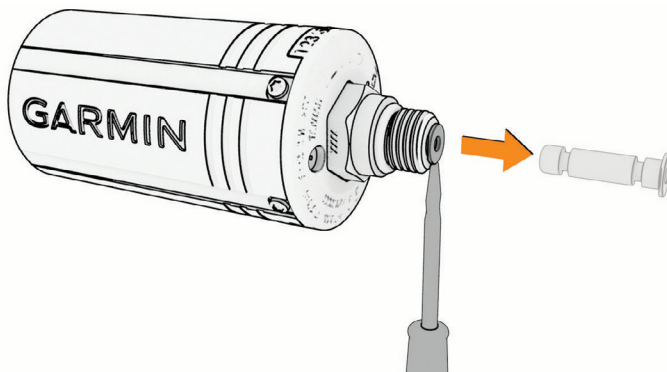
レギュレーターにトランシーバーを取り付けて使用する場合は、必ず流量調節器も取り付けてください。(3 ページ [レギュレーターにトランシーバーを取り付ける](#)) トランシーバーを延長高圧ホースに取り付ける際には、必ず付属のエアスプールを使用してください。流量調節器またはエアスプールのどちらか一方でも取り付けずにトランシーバーを使用すると、死亡または重傷を負うおそれがあります。

EN 250:2014 規格に従い、延長用高圧ホースにトランシーバーを取り付ける前に、トランシーバーの取り付け位置をお読みになり、ダイブコンピューターと最適な通信ができる位置を選んでください。(1 ページ [トランシーバーの取り付け位置](#))

トランシーバーを取り付けるには、スパナと小型マイナスドライバーまたはフラットペンチが必要です。

- 1 マイナスドライバーやペンチを使用して、トランシーバーの流量調節器を取り外します。

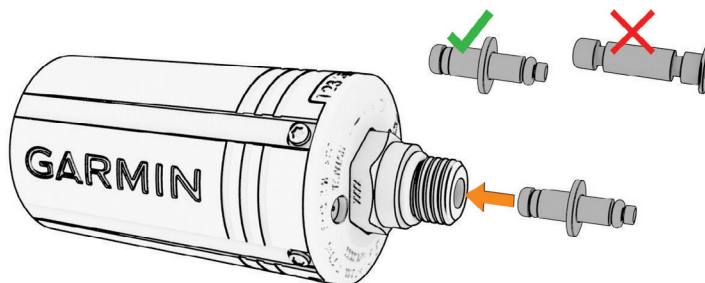
ヒント：流量調節器は、あらかじめトランシーバーに装着された状態で出荷されています。



注意

トランシーバーの破損を防ぐために、流量調節器を取り外すときは注意してください。

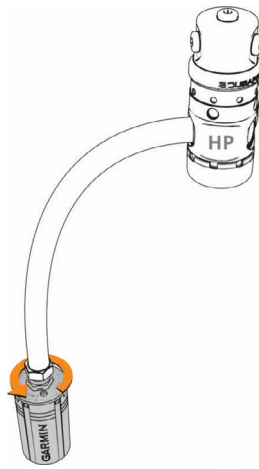
- 2 エアスプールの太い方の端をトランシーバーに差し込みます。



- 3 レギュレーターが減圧してタンクから取り外してあることを確認します。



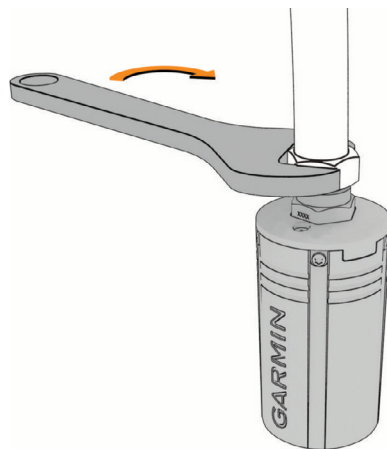
- 4 高圧ポートからポートプラグを外します。
- 5 延長高圧ホースをファーストステージの高圧ポートに取り付けます。
- 6 延長高圧ホースにトランシーバーを差し込んで、回してしっかりと締めます。



⚠ 警告

トランスミッターが、ホースや他の器材と物理的に干渉しないことを確認してください。

7 スパナを使用して締め付けて固定します。



注意

トランスミッターの破損や機能障害を防ぐため、過剰に締め付けしないでください。タンクの移動、運搬、位置の調節をしたりするときに、レギュレーターやトランスミッターを掴まないでください。

レギュレーターにトランスミッターを取り付ける場合は、エアスプールを取り外し、流量調節器を再び取り付ける必要があります。

ダイビング

Descent T2(トランシーバー)に対応する Descent ダイブコンピューターを使用して、ダイビングアクティビティを開始することができます。詳しくは Descent ダイブコンピューターの操作マニュアルをご参照ください。

ダイビングに関する警告

⚠ 警告

このデバイスは有資格のダイバーのみが使用できます。

このデバイスが示す圧力情報だけを唯一の情報源として使用しないでください。このデバイスのバックアップとして、水深計、残圧計、タイマーや時計などの機器を常に使用してください。

デバイスの使用方法、表示内容、および制限事項について、必ず十分に理解してください。本マニュアルやデバイスに関して不明な点がある場合は、デバイスを着用してダイビングする前に、必ず不明な点を解消してください。ご自身の安全は、自分自身が担っていることを常に念頭に置いてください。

ダイブコンピューターが算出する水面空気消費率(SAC)と残圧時間(ATR)は推定値であり、これらの値を唯一の情報源として依拠すべきではありません。

ダイビングを開始する前に、デバイスの動作や設定、ディスプレイの機能、バッテリーレベル、タンク圧力、ホースの空気漏れなどの安全確認を必ず実施してください。

タンク圧力やバッテリーの警告がダイブコンピューターに表示された場合は、ダイビングを直ちに中止し、安全のため水面に戻ってください。警告を無視した場合、死亡または重傷を負うおそれがあります。

安全上の理由から、単独でのダイビングは絶対にしないでください。指定されたバディと一緒にダイビングしてください。減圧障害(DCI)の症状が遅れて現れたり、陸上での活動によって減圧障害(DCI)が誘発されることがあるため、ダイビング後も、しばらくの間は他の人と一緒に行動するようにしてください。

このデバイスは潜水士やプロダイバーのダイビングを目的としたものではありません。レクリエーションのみを目的にしたものです。潜水士やプロダイバーは、減圧障害(DCI)のリスクが増大する水深や状況でダイビングする可能性があります。

トランシーバーは酸素クリーニング済みの製品ではありません。40%以上の酸素濃度ガスとともに使用しないでください。

ダイビングに関する注意

⚠ 注意

ダイバー間メッセージ機能を使用するときは、レシーバー間に遮る物がないことを確認してください。レシーバーのソフトウェアバージョンは、最新バージョンである必要があります。メッセージデータの送信には、最大で 45 秒間かかります。この機能は補助的なものであり、従来のダイビングツールや安全を確保するための手順に取って代わるものではありません。

メッセージ機能またはダイバーポジション機能の可用性と通信範囲は、通信相手のデバイスの種類により異なります。詳しくはデバイスの操作マニュアルをご参照ください。

トランシーバーを低電力モードから起動する

トランシーバーは、工場出荷時に低電力モードに設定されています。トランシーバーをペアリングするには、低電力モードを解除してトランシーバーを起動する必要があります。

次のオプションを選択します。

- トランシーバーをファーストステージのレギュレーターに取り付け、タンクのバルブを徐々に開いてレギュレーターを加圧します。(3 ページ [レギュレーターにトランシーバーを取り付ける](#))

注意：この方法では、Bluetooth® のペアリングは行えません。トランシーバーが加圧されているとき、Bluetooth 接続は無効になります。

- バッテリーカバーを反時計回りに 270 度回して 30 秒間待機したのち、バッテリーカバーを時計回りに回してしっかりと締めます。

注意：トランシーバーは起動後 2 分間経過すると低電力モードに戻ります。

低電力モードが解除されて起動すると、トランシーバーから音が鳴り、Descent ダイブコンピューターまたはスマートフォンと接続可能な状態になります。(7 ページ [Descent ダイブコンピューターとトランシーバーをペアリングする](#)) (10 ページ [Garmin Dive アプリとトランシーバーをペアリングする](#))

Descent ダイブコンピューターとトランシーバーをペアリングする

トランシーバーを使用するには、対応する Descent ダイブコンピューターと ANT 接続でペアリングする必要があります。

対応する Descent ダイブコンピューターについては、Garmin.co.jp の Descent T2 トランシーバーの製品ページをご確認ください。

- 1 トランシーバーの低電力モードを解除して起動します。(6 ページ [トランシーバーを低電力モードから起動する](#))
- 2 Descent ダイブコンピューターで **MENU キー** を長押しして、**[ダイブ設定] > [ダイブネットワーク&エアインテグレーション] > [トランスミッター]** の順に選択します。
- 3 次のオプションを選択します。
 - ・自分のトランシーバーに接続するには、**[自分のタンクを追加]** を選択して、リストから自分のトランシーバーを選択します。
トランシーバーの ID は、ハウジングに印字されています。
 - ・別のダイバーのトランシーバーに接続するには、**[他のダイバーを追加]** を選択して、リストから一つ以上のトランシーバーを選択して、**[追加]** を選択します。

ペアリングが完了すると、トランシーバーをダイビングで使用できます。次回以降は、トランシーバーと Descent ダイブコンピューターが接続範囲内にあると、ダイビングを開始するときに自動で接続されます。

1 台の Descent ダイブコンピューターに最大で 8 つのトランシーバーをペアリングできます。

ダイブネットワーク&エアインテグレーション設定

ダイビングを開始する前にペアリング済みのトランシーバーの設定をカスタマイズできます。

Descent ダイブコンピューターで **MENU キー** 長押し > **[ダイブ設定] > [ダイブネットワーク&エアインテグレーション]** の順に選択します。

[トランスミッター]：ペアリング済みのトランシーバーの設定をカスタマイズします。(7 ページ [トランシーバー設定](#))

[SubWave 機能]：メッセージ機能などの SubWave 機能のオン / オフを設定します。

[表示設定]：ダイビング中のメインダイビングページに表示するトランシーバーを選択します(8 ページ [ダイビング中に表示するトランシーバーを選択する](#))。自分のトランシーバーのガス消費量の計測基準を選択します。(8 ページ [ガス消費量の計測基準を選択する](#))

[接続アラート]：トランシーバーの接続 / 切断時のアラートをオン / オフします。

トランシーバー設定

ダイビング開始前にペアリング済みのトランシーバーの設定をカスタマイズできます。

ペアリング済みの Descent ダイブコンピューターで **MENU キー** を長押しして、**[ダイブ設定] > [ダイブネットワーク&エアインテグレーション] > [トランスミッター]** の順に選択し、任意のトランシーバーを選択します。

注意：一部の設定は、自分のトランシーバーまたは別のダイバーのトランシーバーでのみ有効になります。

[ステータス]：トランシーバーの接続を有効にします。現在の接続ステータスが表示されます。ダイビング中の接続済みのトランシーバーのデータを表示したり、メッセージを送受信できます。

[位置]：トランシーバーが設置されている位置を自分または別のダイバーに設定します。

[パブリックタンクネーム]：別のダイバーに表示するトランシーバーのパブリックタンクネームを設定します。

注意：名前をカスタマイズすると、名前を消去するオプションが利用可能になります。

[ニックネーム]：別のダイバーのトランシーバーにニックネームを設定します。データページに設定したニックネームで表示されます。設定したニックネームは、自分のデバイスにのみ適用されます。

注意：名前をカスタマイズすると、名前を消去するオプションが利用可能になります。

[識別]：選択したペアリング済みトランシーバーから音を鳴らします。トランシーバーの ID を目視で確認せずにトランシーバーを識別することができます。

[最高充填圧力]：タンクが満容量のときのタンク圧力を設定します。この数値は圧力ゲージの上限を決定し、psi 単位でタンクの毎分換気量(RMV)を計算するために使用されます。

[予備圧力]：ダイブコンピューターに表示される予備圧力と緊急圧力アラートの閾値を設定します。

[体積]：タンクの容量を設定します。サイズの異なる別のタンクにトランシーバーを接続する場合は、オプションから**[体積リセット]**を選択します。

注意：この数値は、水面空気消費率(SAC)と毎分換気量(RMV)を計測するために必要です。(8 ページ [ガス消費量の計測基準を選択する](#))

[SAC/RMV/ATR]：自分のトランシーバーの水面空気消費率(SAC)、毎分換気量(RMV)、残圧時間(ATR)の推定値の計測を有効にします。)

[送信出力の設定]：水中でペアリング済みのダイブコンピューターとの接続が切れる場合に、トランシーバーの送信出力を設定します。

[バージョン情報]：トランスミッター ID、ソフトウェアバージョン、バッテリーステータスを表示します。

[削除]：ペアリング済みのトランシーバーを削除します。

[ソフトウェア更新]：ソフトウェア更新が利用可能な場合に、ダイブコンピューターでトランシーバーのソフトウェアを更新します。

ダイビング中に表示するトランシーバーを選択する

メインダイビングデータページには、最大で2つのペアリング済みのトランシーバーのデータを表示できます。データページに表示するトランシーバーを選択できます。初期設定では、1番目と2番目にペアリングされたトランシーバーのデータが表示されます。(8 ページ [ダイビング中にトランシーバーデータページを確認する](#))

- 1 Descent ダイブコンピューターで、**MENU** キーを長押しします。
- 2 **[ダイブ設定]** > **[ダイブネットワーク&エアーインテグレーション]** > **[ディスプレイ設定]** の順に選択します。
- 3 カスタマイズする項目を選択します。
- 4 ペアリング済みのトランシーバーを選択します。

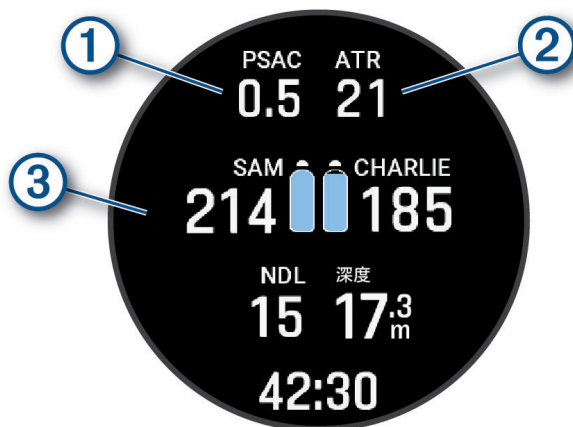
ガス消費量の計測基準を選択する

- 1 Descent ダイブコンピューターで、**MENU** キーを長押しします。
- 2 **[ダイブ設定]** > **[ダイブネットワーク&エアーインテグレーション]** > **[表示設定]** > **[ガス消費量]** の順に選択します。
- 3 オプションを選択します。

注意：タンクの体積(タンク容量)が設定されている場合は、タンクの体積を基にした水面空気消費率(SAC)または毎分換気量(RMV)の推定値が計算されます(7 ページ [トランシーバー設定](#))。タンクの体積(タンク容量)が設定されていない場合は、タンク圧を基にした水面空気消費率(PSAC)の推定値のみ計算されます。

ダイビング中にトランシーバーデータページを確認する

- 1 ダイビング中に Descent ダイブコンピューターの **DOWN** キーを押してデータページを表示します。
ヒント：ダイビングデータページをカスタマイズして、トランシーバーデータとダイバーダッシュボードのページを表示できます。



①	自分のトランシーバーの推定ガス消費量
②	自分のトランシーバーの推定残圧時間(ATR)
③	第1・第2トランシーバーと各タンクの圧力値 注意 ：表示するトランシーバーを設定できます。(8 ページ ダイビング中に表示するトランシーバーを選択する)

- 2 **START** キーを押して **[ダイバー]** を選択すると、ネットワーク内のペアリング済みトランシーバーのタンク圧力

値とおおよその深度と距離を確認できます。



注意：古いモデルのデバイスでは、一部機能を利用できません。(13 ページ [ダイビング製品と機能の互換性](#))

ダイバー間メッセージを送信する

⚠ 注意

ダイバー間メッセージ機能を使用するときは、レシーバー間に遮る物がないことを確認してください。レシーバーのソフトウェアバージョンは、同一の最新バージョンである必要があります。メッセージデータの送信には、最大で 45 秒間かかります。この機能は補助的なものであり、従来のダイビングツールや安全を確保するための手順に取って代わるものではありません。

対応する Descent ダイブコンピューターとペアリングすると、ダイブネットワーク内の最大 30m 離れた別のダイバーにプリセットメッセージを送信できます。

- 1 ペアリング済みの Descent ダイブコンピューターで **START キー**を押します。
- 2 **[メッセージ]**を選択します。
- 3 **DOWN キー**を押します。
ヒント：UP キーを押してメッセージ履歴をスクロールできます。
- 4 任意のメッセージを選択します。
- 5 必要な場合は、受信者を選択します。

ダイビング中に救援を要請する

⚠ 警告

ダイバー救援機能は補助的な機能のため、緊急的な支援を得るための手段として本機能に依存しないでください。デバイスがあなたに代わって緊急支援サービスに連絡することはありません。

ダイビング中にグループからはぐれてしまったときに、ダイブネットワーク内のほかのメンバーに救援を求めるメッセージを送信できます。

- 1 救援要請の送信を確認するメッセージが表示されるまで、ペアリング済みの Descent ダイブコンピューターで **LIGHT キー**を長押しします。
短いカウントダウンの後、2 分間に一回の頻度で救援メッセージが送信されます。Descent Mk3i - 51mm モデルでは、LED フラッシュライトが遭難パターンで点滅します。
- 2 救援を中止するには、**LIGHT キー**を長押しします。
ダイブネットワーク内のメンバーにユーザーが無事であることを知らせるメッセージが送信されます。

Descent ダイブコンピューターでトランシーバーのソフトウェアを更新する

トランシーバーのソフトウェアを更新するには、Descent ダイブコンピューターと Descent トランシーバーをペアリングする必要があります。

- 1 次のいずれかのオプションで Descent ダイブコンピューターを同期します。
 - デバイスを Garmin Dive アプリと同期します。
 - USB ケーブルでデバイスを PC に接続して、Garmin Express で同期します。

Garmin Dive アプリまたは Garmin Express は、自動でソフトウェア更新を確認します。Garmin Dive アプリと同

期したときは、後で更新を適用するか確認されます。Garmin Express と同期したときは、自動で Descent ダイブコンピューターに更新が適用されます。

- 2 トランシーバーの低電力モードを解除して起動します。(6 ページ トランシーバーを低電力モードから起動する)
- 3 Descent ダイブコンピューターで **MENU** キーを長押しして、**[ダイブ設定]** > **[ダイブネットワーク&エアインターグレーション]** > **[トランスミッター]** の順に選択し、トランシーバーを選択します。
- 4 トランシーバーが Descent ダイブコンピューターに接続されるのを待機します。
接続されると、**[接続済み]** と表示されます。
- 5 **[ソフトウェア更新]** を選択し、**START** キーを押して **[今すぐ更新]** を選択します。
トランシーバーのソフトウェアバージョンのバッテリーステータスを確認するため、**[ソフトウェア更新]** のオプションが表示されるまでに数分かかる場合があります。バッテリー残量が低下している場合は、更新をインストールする前に電池を交換する必要があります。
- 6 ソフトウェア更新が完了するまで、Descent ダイブコンピューターとトランシーバーを近くに置きます。

Garmin Dive アプリとトランシーバーをペアリングする

Garmin Dive アプリとトランシーバーをペアリングすると、Bluetooth 接続でソフトウェア更新をトランシーバーに送信できます。

- 1 トランシーバーの低電力モードを解除して起動します。(6 ページ トランシーバーを低電力モードから起動する)
- 2 トランシーバーの二次元コードをスマートフォンのカメラでスキャンして、表示される指示に従ってペアリングとセットアップを完了します。

トランシーバーの低電力モードを解除して起動すると、ペアリングモードになります。2 分間経過すると、低電力モードに戻ります。

デバイス情報

Descent T2 Transceiver(トランシーバー)の電池を交換する

警告

本製品を安全にご使用いただくために、同梱の「安全および製品に関する警告と注意事項」に記載される内容を必ずお読みください。

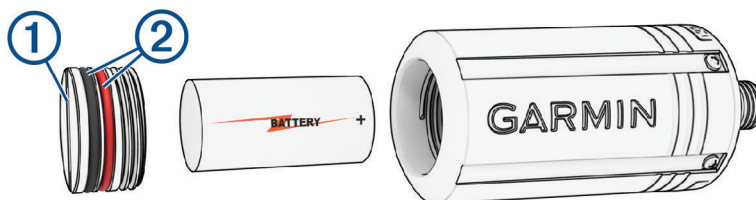
注意

交換用の電池は、高品質なメーカーの製品を信頼できる販売店で購入してください。低品質の電池を使用すると、デバイスの性能が低下したり、特に低温下で電池寿命が短くなったりすることがあります。充電式電池は使用しないでください。充電式電池には、電圧が高い仕様のものであり、デバイスの破損につながるおそれがあります。

電池の交換には、硬貨またはマイナスドライバー、新しいリチウム電池(3V CR123A)、防水用シリコングリスが必要です。また、バッテリーキャップやOリングが劣化している場合は、新しいものに交換する必要があります。

トランシーバーにはリチウム電池(3V CR123A)を使用します。電池は出荷時にあらかじめ取り付けられています。トランシーバーの防水性能を維持するために、電池交換の際は以下の手順に従ってください。

- 1 硬貨またはマイナスドライバーを電池蓋のスロット ① に挿入し、反時計回りに回します。



- 2 電池蓋と電池を取り外します。
- 3 トランシーバーに交換用電池を挿入します。電池の+(プラス)極をトランシーバーに向け、-(マイナス)極を電池蓋に向けて挿入します。
- 4 2つのOリング ② を点検し、汚れや損傷がなく、溝に固定されていることを確認します。
Oリングが摩耗または損傷しているようであれば、交換用の電池蓋(Oリング、防水用シリコングリスを含む)を購入することができます。詳しくは、[Garmin.co.jp](https://www.garmin.co.jp) の Descent T2 の製品ページをご参照ください。
- 5 両方のOリングに防水用シリコングリスを薄く塗ります。
- 6 電池蓋を取り付けて、しっかりと締めます。

お取り扱い上の注意事項

注意

タンクの移動、運搬、位置の調節をしたりするときに、レギュレーターやトランシーバーを掴まないでください。

トランシーバーから安全用プラグを取り外さないでください。

デバイスを傷めるおそれがあるため、クリーニングの際に先のとがったものを使用しないでください。

化学洗剤や溶剤、防虫剤はデバイスのプラスチック部や塗装を傷めるおそれがあるため使用しないでください。

デバイスが塩素や海水に長時間さらされたり、日焼け止めクリーム、化粧品、アルコール、その他刺激の強い化学薬品が付着した場合は、真水で洗い流した後、柔らかい布で水分をしっかりと拭き取ってください。

強い衝撃を与えたり、乱暴な取り扱いをすると製品寿命を縮めるおそれがあります。

高温になるおそれがある場所でデバイスを長期間保管しないでください。デバイスの故障の原因となるおそれがあります。

破損したデバイスや、保管温度範囲外で保管されていたデバイスは使用しないでください。

電池室に水が入った場合は使用を中止してください。たとえ少量の水でも、電気接点を腐食させるおそれがあります。

トランシーバーのクリーニング方法

- 1 ダイビングの後は、トランシーバーを真水ですすぎ、付着した塩、ごみなどの汚れを取り除いてください。
- 2 必要であれば、柔らかい布でトランシーバーをきれいに拭いてください。

交換用パーツ

交換用のパーツをお求めの場合は、Garmin の正規取扱店にお問い合わせいただくか、[Garmin.co.jp](https://www.garmin.co.jp) にアクセスしてください。

仕様

注意

バッテリー稼働時間は、Garmin のテスト環境下での標準値です。実際のバッテリー稼働時間は、各種機能の利用状況やデバイスの使用環境により異なります。

バッテリータイプ	3 V CR123A リチウム電池
バッテリー稼働時間	約 100 時間
ねじ規格	7/16 インチ (20 UNF)
動作温度範囲	-20 ~ 60°C
動作温度範囲(水中)	0 ~ 40°C
保管温度範囲	-30 ~ 70°C
水上通信範囲 (ANT 接続 /Bluetooth 接続)	最大 10m
水中通信範囲 (SubWave ソナーネットワーク)	圧力 / 深度データ : 最大 10m ダイバー間メッセージ : 最大 30m
防水性能	20 ATM ^{*1}
定格圧力	300 bar (4351 psi)
点検間隔	使用前には必ず部品に損傷がないか点検してください。必要に応じて部品を交換してください。 ^{*2}

製品の仕様は、改良のため予告なく変更する場合があります。

^{*1} 水深 200m に相当する圧力に耐えられます。防水性能について、詳しくは [Garmin.com/ja-JP/legal/waterrating-definitions/](https://www.garmin.com/ja-JP/legal/waterrating-definitions/) をご参照ください。

^{*2} 通常使用による摩耗を除く。経年劣化による性能への影響はありません。

トラブルシューティング

デバイスに関するその他の情報

デバイスに関する最新・補足情報は、当社ウェブサイト (Garmin.co.jp) をご参照ください。

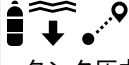
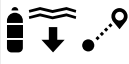
サポートセンター support.Garmin.com/ja-JP/

チュートリアルビデオ [\[e ラーニング\] Descent T2](#)

ダイビング製品と機能の互換性

複数の Descent デバイスをペアリングして、ダイブネットワークを形成することができます。旧モデルのデバイスは、一部の機能に対応していません。

注意：すべての機能を利用するには、ソフトウェアバージョンを最新のバージョンにアップデートする必要があります。非対応のソフトウェアがインストールされている場合は、「トランスマッター %1 に接続できませんでした。」と表示されます。('%1'はトランシーバー名に置き換えられます。)

	Descent T1	Descent T2
Descent Mk2i	 ・タンク圧力 ・ダイバーの深度 ・ダイバーの距離	 ・メッセージ受信 ・タンク圧力 ・ダイバーの深度 ・ダイバーの距離 ・パブリックタンクネーム
Descent Mk3i	 ・タンク圧力 ・ダイバーの深度 ・ダイバーの距離	 ・メッセージ送信 ・メッセージ受信 ・タンク圧力 ・ダイバーの深度 ・ダイバーの距離 ・パブリックタンクネーム

：自分と接続済みダイバーのタンク圧力を確認できます。

：接続済みダイバーの深度を確認できます。

：接続済みダイバーの距離を確認できます。

：自分と接続済みダイバーのトランシーバーのパブリックタンクネームを確認できます。

：Descent T2 トランシーバーを使用しているダイバーにプリセットメッセージを送信できます。

：Descent Mk3i に Descent T2 トランシーバーを接続して使用しているダイバーからのメッセージを受信できます。

ダイビング用語

残圧時間(ATR)：9m/分(30ft/分)で浮上するための残圧を除いて算出した現在の深度に留まれる時間。

水面空気消費率(圧力)：1気圧下相当で消費する空気の量(タンク圧を基に推定)。

水面空気消費率(体積)：1気圧下相当で消費する空気の量(エアの体積を基に推定)。

毎分換気量(RMV)：周囲圧力での1分間あたりの空気消費量。

トランシーバーのアラート

アラートメッセージ	原因	ダイブコンピューターの動作
なし	ペアリング済みのダイブコンピューターと、トランシーバーの通信が 30 秒間途絶えています。	タンクの圧力値が黄色に点滅します。
%1 予備圧未満です	タンク圧力が予備圧力のレベルを下回っています。「%1」はトランシーバー名に置き換わります。	タンクの圧力値が黄色に点灯します。 ペアリング済みのダイブコンピューターが振動し、警告音が鳴ります。
%1 圧力低下	タンク圧力が緊急圧力レベルを下回っています。「%1」はトランシーバー名に置き換わります。	タンクの圧力値が赤く点滅します。 ペアリング済みのダイブコンピューターが振動し、警告音が鳴ります。
%1 バッテリー残量不足	トランシーバーのバッテリー残量が残り 20 時間以下です。「%1」はトランシーバー名に置き換わります。	バッテリー残量が極端に低下すると、トランシーバー名に「バッテリー残量低下」の表示が出て点滅します。 ペアリング済みのダイブコンピューターが振動し、警告音が鳴ります。
通信なし	ペアリング済みのダイブコンピューターと、トランシーバーの通信が 60 秒間途絶えています。	トランシーバー名に「NO COMMS」の表示が出て点滅します。タンク圧力値にはダッシュ（破線）が表示され、圧力値が赤色に点滅します。 接続アラートが有効になっている場合は、ペアリング済みのダイブコンピューターが振動し、警告音が鳴ります。
トランスミッター %1 に接続できませんでした。	ダイブコンピューターがトランシーバーに接続できません。接続する両デバイスを最新のソフトウェアバージョンに更新してください。「%1」はトランシーバー名に置き換えられます。	ペアリング済みのダイブコンピューターが振動し、警告音が鳴ります。

トランシーバー接続アラートを有効にする

ダイブコンピューターとペアリング済みであっても、トランシーバーが通信圏外になったり、ユーザーや他のダイバーの身体でトランシーバーの信号が遮断されたり、トランシーバーのバッテリーが切れたりしたときなど、トランシーバーとの通信が途絶えることがあります。ペアリング済みのダイブコンピューターと、トランシーバーの通信が 60 秒間途絶えた場合、アラートでユーザーにお知らせすることができます。

1 Descent ダイブコンピューターで、**MENU キー**を長押しします。

2 **[ダイブ設定] > [ダイブネットワーク&エアーインテグレーション] > [接続アラート]**の順に選択します。

水中でトランシーバーと Descent ダイブコンピューターの接続が途切れる

水上では Descent ダイブコンピューターとトランシーバーは通信ができるのにもかかわらず、水中では通信が途絶えてしまう場合は、以下の手順をお試しくささい。

- トランシーバーの送信出力設定を変更します。(15 ページ [送信出力設定を変更する](#))
- トランシーバーを延長高圧ホースに取り付けて、トランシーバーがダイブコンピューターと通信できるように、位置を調節します。(4 ページ [トランシーバーを延長高圧ホースに取り付ける](#))
- トランシーバーの取り付け位置についてのヒントをお読みにになり、ダイブコンピューターとトランシーバーの通信に最適な位置を決めます。(1 ページ [トランシーバーの取り付け位置](#))

送信出力設定を変更する

注意：送信出力の設定値を上げると、トランシーバーが発する音と送信範囲が大きくなりますが、バッテリーの消耗が早くなります。

- 1 Descent ダイブコンピューターで、**MENU キー**を長押しします。
- 2 **[ダイブ設定]** > **[ダイブネットワーク&エアインテグレーション]** > **[トランスミッター]**の順に選択します。
- 3 ペアリング済みのトランシーバーを選択します。
- 4 **[送信出力の設定]**を選択します。
- 5 トランシーバー ID を入力します。
ヒント：トランシーバー ID はハウジングに印字されています。
- 6 オプションを選択します。

トランシーバーのバッテリー消耗が早い

トランシーバーのバッテリーが稼働時間(12 ページ [仕様](#))よりも早く消耗する場合、ダイビング後にトランシーバーが低電力モードになっているかどうか確認してください。

ダイビングを終了して水面に上がった後、レギュレーターを減圧します。

レギュレーターに取り付けているトランシーバーは、減圧してから 2 分経過すると低電力モードになります。

ダイビング中トランシーバーからノイズが発生する

トランシーバーは SubWave ソナーネットワークでデータを転送中にノイズ(雑音)を発します。ソナー信号による音は特にダイビング中に目立ちます。それは水中では音が電波より伝わりやすく、また SubWave ソナーネットワークが従来の無線製品よりも伝送距離が長いためです。SubWave ソナーネットワークは、従来のマリンソナーシステム(1000W 周辺)よりも低い出力信号(1 ~ 10W)を用いています。海洋生物への妨害がないことが試験で示されています。

ノイズを低減するために、トランスミッターの設定で送信出力を低く設定することができます。(15 ページ [送信出力設定を変更する](#))

商標について

本操作マニュアルの内容の一部または全部を Garmin の書面による承諾なしに転載または複製することはできません。本操作マニュアルの内容ならびに製品の仕様は、予告なく変更される場合があります。

製品に関する最新・補足情報については、Garmin.co.jp にアクセスしてください。

Garmin, Garmin ロゴ, ANT は、米国またはその他の国における Garmin Ltd. またはその子会社の登録商標です。

Descent, Garmin Dive, Garmin Express, SubWave は、Garmin Ltd. またはその子会社の商標です。Garmin の許可を得ずに使用することはできません。

BLUETOOTH® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、Garmin はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

M/N: A04770

